



馬の学校

馬の学校通信

2010. 2 vol.37

発行 馬の学校

事務局 〒409-0115 山梨県上野原市松留645ハイム上野原206 TEL/FAX:0554-63-5534

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : http://www.horseschool.org



春のプログラム 参加者募集!!

ウマキャンプ (3泊4日)

日程 : 3月25日(木)~28日(日)・小須田牧場

対象 : 小学4年生~高校3年生 (定員 6名)

参加費 : ¥41,000 (現地集合・解散)

*大阪集合解散の場合、小学生 ¥50,000 中学生以上 ¥55,000

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程 : 3月6日(土)午前10~12時 服部緑地乗馬センター

4月25日(日)午前10~12時 服部緑地乗馬センター

5月22日(土)午前10~12時 服部緑地乗馬センター

6月12日(土)午前10~12時 服部緑地乗馬センター

*原則として保護者同伴

対象 : 小学1年生~高校3年生 (各回定員4名)

参加費 : 1人¥8,000 (現地集合・解散) / 1回

ファミリープログラム (日帰り)

日程 : 4月24日(土)

ホーストレッキングわち

対象 : 幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族 (定員3家族)

参加費 : 1家族¥15,000 (現地集合・解散) / 1回

別途 食費1人¥500

★お申し込みは、会員の方は2月7日(日)から、一般の方は9日(火)から、電話、FAX、メールにて事務局まで! (留守電の場合は、お名前と希望プログラムをお伝え下さい。折り返し、こちらからお電話いたします。)

★ふれあいプログラムにつきましては、4回実施することで、回数制限をすることなく、お申し込みいただけるようになりました。



2010年度会費納入のお願い

2010年度会費につきましては、同封の振替用紙にて下記の通りお願いいたします。(いずれかをお選び下さい) *春のプログラムに参加申し込みされる方は、参加費とご一緒のお振り込みでも結構です。

<子ども会員・家族会員>

プログラムに参加される方・通信の発送を希望される方
年会費 1000円

<賛助会員>

馬の学校を応援して下さる方 (プログラム参加・通信の発送も含まれます)

賛助年会費 3000円~

会費を振り込まれた方には、次回通信と一緒に会員証をお送りします。

*会員特典 : 優先申し込み / 特製シールと年末にはカレンダーをプレゼント!

*住所変更をされた方、退会を希望される方は、お手数ですが事務局までお知らせください。

子どもたちへのアンケートから

ウマキャンプ

・一番楽しかったことは・・・

はだか馬で、いろいろな乗り方ができたこと

馬に乗ること・馬小屋そうじ

鞍付け・乗馬・みんなで遊んだこと

・一番がんばったことは・・・

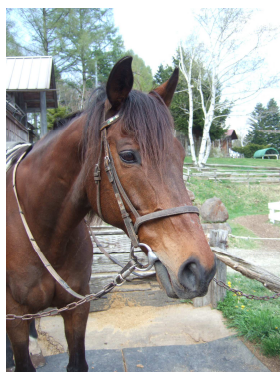
馬小屋そうじ・馬に乗るときにリズムを合わせること

蹄の裏のそうじ

馬に乗って方向転換したこと



馬の品種① サラブレッド



速く走るために改良された品種で、競走馬として知られています。日本では引退後に再調教を行い、乗馬クラブなどでも多く使用されています。体高（首の付け根までの高さ）は160～170 cm、体重は400～500kgぐらいです。

写真の馬は小須田牧場にいる「パイ」。ウマキャンプでおなじみのパイも、かつては競走馬として活躍していました。

おすすめの本

『ちびギアラ』 絵・文 ポンボヤージュ

今回は馬ではありませんが、ちょっぴり笑えて、心が元気になる本の紹介です。いろいろな動物のキャラクターが登場して、そこにちょっとした言葉が添えられています。私のお気に入り、カモさんに添えられた次の言葉です。

「できないかも」と「できるかも」
どちらも「カモ」ならやってみよう。

HPもあるので、覗いてみてください。

『Bonboya-zyu Gallery』

<http://www.bonsha.com/index.html>



ウエスタン競技 ショーマンシップ

今回は「ショーマンシップ」をご紹介します。これは馬に乗らずに行う競技で、馬は無口と曳き手のみ装着した状態、人はその馬の横に立って曳き馬をします。決められたパターン（経路）に従って、馬を歩かせる、走らせる、停止・ターン・バックさせるなど、まるで馬を思いのままに動かしているかのように見せ、ジャッジ（審判）の前で馬の四肢をきれいにそろえて止まります。ジャッジに対して「私の曳いている馬、とってもいい馬でしょう？」と無言でアピール。それを受けてジャッジは馬の能力だけでなく見栄えなども審査します。このため、なんとこの競技では馬に「付け毛」ならぬ「付けしっぽ」をしたり、毛づやをよく見せるために人間の乳液のようなものをぬったり、黒つややかな蹄に見せるために「マニキュア」をしたりします。人も自信を持って品よく、常に笑顔で競技を行います。馬も人もピカピカつやつや！曳き馬の競技という一見地味そうですが、意外と華やかな競技なのです。（幸田郁代）



編集後記

この冬休み、小学6年生の甥が初めて小須田牧場の「ファームステイ」に参加しました。通常は中学1年生からの受け入れですが、これまでの経験や本人の強い希望で実現。ウマキャンプとは違って、朝から晩までスタッフとともに働きます。生き物相手の仕事なので大変なこともあるけれど、みんなで外乗に行ったりという楽しみもあるのがファームステイのいいところ。自分で決め、それをやり遂げたことで、一回り大きく、そしてたくましくなったことと思います。受け入れてくださった小須田牧場の皆様に感謝！です。

さて春のプログラムですが、服部緑地乗馬センターでのふれあいプログラムを3回から4回に増やし、回数制限をなくしました。少しでも多くのこどもたちに、少しでも多く参加してもらい、たくさんの笑顔と自信を持って帰ってもらえればと思っています。

（峯崎 友香理）